大学生における二分法的思考とソーシャルスキル、孤独感との関連

一性差による比較の検討－

○岸野雄次¹・鈴木 平¹

(¹桜美林大学大学院心理学研究科)

キーワード：二分法的思考，ソーシャルスキル，孤独感

The relationship between Dichotomous Thinking and Social Skill, Loneliness in university students

Yuji Kishino¹, Taira Suzuki¹

(¹Graduate School of Psychology studies, J. F. Oberlin.)

Key Words: Dichotomous Thinking, Social Skill, Loneliness

目 的

Peplau & Russell (1979)によれば、孤独感は対人関係の不足を知覚することで生じるとしている。具体的には、対人関係の達成レベルが願望レベルより低いために否定的および拒絶的認知が生じ、対人接触を阻害する要因とされている。さらに、孤独感の高い人は表情やしぐさが少なく、相手への否定的認知が生じるとされている(相川・佐藤・佐藤・高山, 1993)。

これらのことから大学生の対人関係に対して、ソーシャルスキルが有効とされている。ソーシャルスキルは孤独感の低減および予防に繋がることが示唆されているため(相川・藤田・田中, 2007)、ソーシャルスキルトレーニング(以下, SSTと略)が実施されている(相川, 1999)。

しかしながら、現在まで SST は教育現場で多く実施されているが、いくつかの課題点が報告されている。例えば、支援において対象者に合わせた工夫を凝らさないと般化しない可能性が指摘されている(Ogilby, 1994)。さらに、孤独感に対して、特性的な認知が生じていることやパーソナリティ特性と具体的な行動との交互作用による効果の検討を行う必要が指摘されている(相川, 1999; 高橋・山形・星野, 2011)。そのため、今後、パーソナリティ特性を導入した新たなエビデンスによる支援プログラムの開発が期待される。

このような中、パーソナリティ特性を理解する概念の1つに二分法的思考がある。二分法的思考(以下, DTI と略)とは「白か黒か」「善か悪か」「0 か 100」などの物事を二律背反する思考態度とされている(Oshio, 2009)。この DTI は他者に対する否定的認知や自己批判を有し、健康および適応に影響することが示唆されている(小塩, 2010; 上野・三枝・小塩, 2017)。さらに、DTI において、男性は女性よりも高い特徴を示している(上野他, 2017)。そのため、孤独感に対して、性別ごとの DTI とソーシャルスキルとの組み合わせの効果について検討することが、今後、パーソナリティ特性を組み込んだ支援を行うために、有益な知見に繋がることが推察される。

そこで、本研究は DTI とソーシャルスキル、孤独感との関連について検討することを目的とする。具体的に、1 つ目は、男性において、DTI はソーシャルスキルより孤独感に対して、高い影響がある。2 つ目は、男性において、DTI とソーシャルスキルの交互作用項が孤独感に対して影響がある。

方 法

調査時期は、2017 年 5 月初旬から中旬であった。調査対象者は都内の私立 A 大学に在学する大学生 274 名(男性 123 名、女性 151 名、平均年齢 20.32 歳、SD=1.26)であった。また、質問紙の内容は、1) 二分法的思考尺度(Oshio, 2009)、2) ソーシャルスキル尺度(相川・高本・杉森・古屋, 2012)、3) 孤独感尺度(工藤・西川, 1983)の 3 尺度を使用し、集合調査法に

て実施した。

結 果と考 察

孤独感を従属変数に、性別ごとの階層的重回帰分析を行った結果(Table 1)、男性は信念に影響が確認されたが、女性は確認されなかった。また、男性において、交互作用項が有意であり、単純傾斜の検定結果から、選好および損得と記号化において、交互作用が確認された。そのため、あるパーソナリティ特性と組み合わせることで孤独感の高まりが確認されたことから、必ずしもソーシャルスキルを高めることが望ましいとは言えないことが示唆された。今後、DTI を導入した SST の実証的知見が期待される。

Table 1 孤独感を従属変数とした階層的重回帰分析

変数	標準偏回帰係数(β)					
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
Step 1						
選好	-.18	-.18	-.09	-.06	-.12	.01
信念	.18	.25 **	.20 *	.12	.28 **	.13
損得	-.02	-.04	.00	.06	-.09	.00
Step 2						
解釈			-.16	-.15 *	-.22 *	-.15 *
記号化			-.35 **	-.48 **	-.30 **	-.49 **
主張性			.01	-.15 *	-.02	-.18 *
Step 3						
選好×解釈					.18	-.08
選好×記号化					-.44 **	.21
選好×主張性					.14	.20 *
信念×解釈					.10	.04
信念×記号化					.00	-.11
信念×主張性					.00	.08
損得×解釈					-.10	-.04
損得×記号化					.44 **	-.04
損得×主張性					-.12	-.22
R ²	.05	.07 *	.22 ***	.42 ***	.35 *	.47
ΔR ²	.05	.07 *	.17 ***	.35 ***	.14 *	.05

* p<.05, ** p<.01, *** p<.001